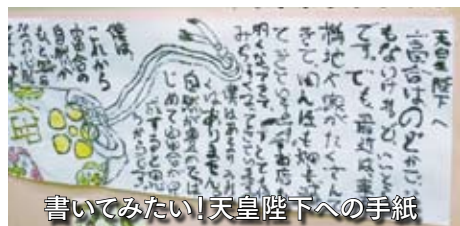


全校生徒が協力し、企画・準備し実践した発表会はすばらしいものになりました。学年別、クラス別、教科別と多くの発表の中から一部を紹介します。

展示の部



書いてみたい! 天皇陛下への手紙



小学生も楽しんで見てましたよ



30年後 君たち45歳だね!



合唱コンクール 各クラスが練習を重ねての発表
ステージとフロアが心をつなげて



3年生 地球から「地雷」をなくしましょう!
「地雷」って何? 地雷を知ることから始まった取り組みは、地雷廃絶への協力、募金活動につながりました。被害者への気持ちも込めて。

「支え合って生きる」 学び、体験した思いを言葉にまとめて発表。成長する中学1年生です。

学 び

- ・詩画家星野富弘さんの事故そして絵を描き始めたこと、それを支えた家族とまわりの人のこと
- ・バリアフリーとユニバーサルデザインについて
- ・高齢者疑似体験・車椅子体験（地域包括支援センター・地域の施設の指導がありました）

学び・体験しての思い

- ・私は手足の自由を失っても、自分の出来ることを見つけ、努力を重ね、口にくわえた筆で絵を描けるようになった星野さんの心は強いなあと感じました。そして星野さんを見守り、支援したまわりの人々の心はあたたかく、私も応援できる人になりたいと思いました。
- ・私はUD（ユニバーサルデザイン）を学び、UDとは障がい者のためだけでなく、誰もが自由に使える支えになっていることがわかりました。ほんの少しの工夫で、使いやすくデザインされ、すごいと思いました。
- ・UDのように、便利なものがこれからも増えると思います。とてもいいことですが、それ以上に大切なことがあると思います。それは困っている人への「大丈夫?」の声かけや手助けです。
- ・黄色のゴーグルで視野が狭くなり、肘や膝にサポーターを付けると関節が曲がりにくくなりました。軍手をはめると握力が弱くなり、足元におもりを付けていると思うように動けません。高齢者の生活の大変さを感じることが出来ました。これは高齢者の方々の生活であり、私たちにもいずれ訪れることなのです。
- ・今の私に何が出来るか不安です。だから、まず私は一番身近なおじいちゃんやおばあちゃんの支えになり、おじいちゃんが重たそうな荷物を持っている時、おばあちゃんが針仕事などの細かい作業をしている時には、すぐにお手伝いが出来るようにしたいです。
- ・たくさんの方が自分の身近な人の支えになるだけで、一つの支え合いが、大きな支え合いにつながると思います。私たちは身の周りの人にとって、最高の支えになれるように頑張ります。

「ナイストライで学んだこと」 2年生

富合中学校では毎年職場体験を行っています。

9月12日～14日に富合町、熊本市、宇土市の職場で学んだのは「感謝」「あいさつ」「笑顔」「掃除」「忍耐力」。地域のみなさんの協力で出来る貴重な体験です。その体験を劇で発表。

